

いわて青少年育成プラン（2020～2024）の策定について

1 プラン検討の経緯

(1) 岩手県青少年問題協議会における協議

【問題協議会開催状況】

第1回：令和元年7月10日（骨子案協議）

第2回：令和元年10月7日（素案協議）

第3回：令和2年2月7日（最終案協議予定）

(2) 市町村、関係団体アンケート

平成31年4～5月にかけて、県内全市町村、岩手県青少年育成県民協議会（107団体、64個人）、岩手県子ども・若者自立支援ネットワーク会議及び若者活躍支援チーム会議構成メンバーに対してアンケート調査を行った。

(3) 議会への報告

令和元年12月6日の環境福祉委員会において、プラン（素案）について報告した。

(4) パブリック・コメント等の結果

パブリック・コメント（令和元年12月9日～令和2年1月14日）を行い、38件の意見等が寄せられ、一部プラン素案を修正した。なお、県民協議ほか関係団体に対しては、文書で意見照会を行った。

2 プラン最終案の概要

(1) 基本理念

健全で自立した「いわての青少年」を育むとともに、若者の活躍を応援する。

(2) 4つの重点目標（取組の方向）

ア 個性や主体性を発揮して自立した活動ができる環境づくり

イ 愛着を持てる地域づくり

ウ 青少年を事件・事故から守る環境づくり

エ 若者が活躍できる環境づくり

(3) プラン素案からの主な修正点

ア 青少年問題協議会意見の反映状況

- ・ニート、ひきこもり、障がいや性的マイノリティを並列で記載していたものを、国の「子供・若者白書」の記載内容に併せて整理
- ・青少年の健全育成に関係する県民運動をコラムで紹介
- ・インターネット・スマートフォン関係の取組について、これまでの取組と今後の取組が分かりやすくなるよう修正。また、各機関で行っているメディア対応の取組をコラムで紹介
- ・全体的に、簡潔で分かりやすい表現に修正

イ パブリックコメントの反映状況

子供の居場所づくりについて、上記(2)「ウ 青少年を事件・事故から守る環境づくり」の他に、「イ 愛着を持てる地域づくり」にも追加したこと。

ウ その他

子供の貧困問題や被災児童等の心のケア、高校中途退学者への支援について、内容を充実させたこと。その他、所要の修正を行ったこと。

3 今後のスケジュール等

3月18日 2月定例議会 環境福祉委員会において報告

3月末 知事決裁・公表

【参考：パブリック・コメント実施結果】

プランの4つの施策の基本方向全てに対して寄せられ、多くは趣旨同一やプラン推進にあたって参考とするものであった。

(1) 主な内容

ア 個性や主体性を発揮して自立した活動ができる「環境づくり」に関する意見：6件

(子育てや若年無業者対策への取組 等)

イ 愛着を持てる「地域づくり」に関する意見：5件

(関係機関との連携や地域の教育への取組 等)

ウ 青少年を事件・事故から守る「環境づくり」に関すること：11件

(情報メディアへの対応や防犯への対応 等)

エ 若者が活躍できる「環境づくり」に関すること：3件

(若者と地域とのつながりや若者の居場所づくり 等)

オ その他の意見：14件

(2) 反映状況

区分	意見件数	区分	意見件数
A：全部反映	0	D：参考	16
B：一部反映	1	E：対応困難	0
C：趣旨同一	14	F：その他	7